

2026 年 9 月 18 日  
株式会社三菱 UFJ 銀行

## 株式会社牧野フライス製作所と「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 <sup>おおさわ まさかず</sup> 大澤 正和）は、株式会社牧野フライス製作所（取締役社長 <sup>みやざき しやうたろう</sup> 宮崎 正太郎、以下当社）との間で、ローン・マーケット・アソシエーション<sup>[1]</sup>等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」による融資契約（以下、本ローン）を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件と SPT に対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

本ローンにおいては、以下の SPT 達成状況に応じて利率が変化します。工作機械を通じて持続可能な社会の実現を目指す当社がグローバルで参照されている CDP（気候変動）のスコア取得を通じて取り組みを高度化させていくことは、当社にとって中核的で重要なものであり高い戦略的意義を有すると考えております。

- KPI：CDP（気候変動）スコア
- SPT：達成判定までの期間にわたり CDP（気候変動）スコア A-以上を維持

当社は、「Quality First」のもと、工作機械事業を通して、サプライチェーン全体で、サステナブルなモノづくりを追求します。また、すべてのステークホルダーとの継続的な対話と連携を通じて、これまで培ってきた信頼関係のさらなる深化に努めます。これらの活動に真摯に取り組むことにより、企業価値の向上を目指すと同時に、豊かな社会・環境の持続可能性が高度にバランスした世界の実現に貢献します。

### 【本ローンの概要】

|       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 融資実行日 | 2026 年 8 月 21 日、2026 年 9 月 18 日 |
| 貸付人   | 株式会社三菱 UFJ 銀行                   |
| 資金使途  | 事業資金                            |

また、本ローンは、サステナビリティ・リンク・ローン原則に準拠している旨、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より第三者意見書を取得している「三菱 UFJ 銀行グリーン及びサステナビリティ・リンク・ファイナンスフレームワーク」に則って実行しています。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 65 ヶ国以上約 800 機関が加盟。